

公益財団法人 プラザ・コム  
2017年度 事業報告書  
(2017年4月1日～2018年3月31日)

「2017年度事業報告」に関する概要報告

以下、本財団の定款第4条に定められた「事業」について、「2017年度事業計画書」を基に、2017年4月1日～2018年3月31日 までに行った事業の概要を報告する。

1. 福祉活動及びボランティア活動に携わっている団体等、一般市民に対して活動場所の提供事業

(1) ぷらざこむ1

a. 登録ボランティアグループに対して、活動場所を提供

表1) ボランティアグループによる利用状況の推移 (利用率)

	朝～昼～夕方 (9時～18時)							
	2階					別棟 工作室	2階 + 工作室	3階 フリー ルーム
	中会議室 21～24	小会議室 25～27	クッキング ルーム	プレイ ルーム	レコーディング ルーム			
<b>2017年度</b>	<b>33.6%</b>	<b>15.3%</b>	<b>12.4%</b>	<b>2.1%</b>	<b>9.9%</b>	<b>35.9%</b>	<b>21.8%</b>	<b>8.7%</b>
2016年度	33.3%	17.3%	14.1%	1.1%	11.1%	36.6%	22.6%	7.3%
2015年度	33.1%	19.0%	14.0%	2.9%	4.1%	36.5%	22.7%	6.2%
2014年度	38.0%	22.1%	17.1%	3.6%	13.6%	39.5%	26.7%	7.7%
2013年度	37.7%	24.6%	17.0%	1.7%	30.3%	36.3%	28.4%	10.9%
2012年度	37.0%	25.2%	17.5%	2.0%	10.3%	34.9%	26.9%	9.4%
2011年度	33.6%	26.2%	16.8%	2.4%	18.1%	44.6%	27.2%	7.8%
2010年度	35.4%	27.8%	19.1%	2.1%	19.6%	46.6%	28.8%	9.6%

部屋の利用率は、各部屋の利用可能全時間に対する利用された合計時間との比率である。

表2) ボランティアグループによる利用状況の推移

	朝～夜間 (9時～21時)		(3月31日現在)
	利用件数	利用者数	利用登録グループ数
<b>2017年度</b>	<b>1,709件</b>	<b>31,720人</b>	<b>65グループ</b>
2016年度	1,792件	32,135人	71グループ
2015年度	1,828件	32,284人	72グループ
2014年度	2,026件	34,516人	88グループ
2013年度	2,292件	38,505人	100グループ
2012年度	2,201件	38,996人	97グループ
2011年度	2,257件	38,380人	97グループ
2010年度	2,404件	42,419人	102グループ

\* 登録しなかったグループ・4グループ

▶ 107あど、157ふしぎなポケット、190ふたごくらぶ・ぐりとぐら、324cherry peer

\* 退会したグループ・・・5グループ

▶ 3ほほえみ、85いずみ会、162フルーツアンサンブルGAF、3朗読の会ほのぼの、30縫いの会

\* 新規登録グループ・・・3グループ

▶ 370たからづか子ども食堂、380武庫川流域連携をすすめる会、381武庫川流域圏ネットワーク

b. 宝塚市ボランティア活動センターに対して、1階の一部をボランティア活動の支援のため、事務スペースとして提供した。

c. 3階のフリースペースをこむ1会の承認の基に一般の団体に提供した。

\* 承認の基準・・・ボランティアに貢献する内容である事。

\* 件数・・・・・・3件 8日間

d. 1階の活動スペースを、市民活動の啓発のために一般市民の人たちに開放し、提供した。

(2) ぷらざこむ 2

a. ぷらざこむ 2 スポーツ広場及び1階（多目的室・防音室）

障害者グループに対してスポーツ広場及び1階（多目的室・防音室）をスポーツ文化余暇活動のために障害者グループに提供した。

表3) 障害者グループによる利用状況の推移（利用回数、利用登録グループ数）

	スポーツ広場	多目的室	防音室	全体（合計）	利用登録グループ数
<b>2017年度</b>	<b>52回</b>	<b>124回</b>	<b>28回</b>	<b>204回</b>	<b>12グループ</b>
2016年度	57回	131回	11回	199回	12グループ
2015年度	134回	212回	128回	474回	13グループ
2014年度	134回	234回	137回	505回	13グループ
2013年度	146回	206回	142回	494回	14グループ
2012年度	157回	210回	123回	490回	11グループ
2011年度	196回	200回	120回	516回	11グループ
2010年度	233回	226回	104回	563回	9グループ

1日を3区分に分け、1区分の利用ごとに利用1回とする。（各区分は、9～13時、13～17時、17～21時）

b. ぷらざこむ 2 2階

社会福祉法人さざんか福祉会に対し、知的障害者の作業所「宝塚めふプラザ」として提供した

＊ さおり織り、スタンドグラス、組み紐の製作、屋外の清掃作業を行なっている。

＊ 障害者:24名、職員数:6名、アルバイト:4名

c. ぷらざこむ 2 1階の北倉庫

＊ (社福)さざんか福祉会に対し、北倉庫を強度行動障害がある利用者の作業場として提供した。

＊ 毎月1回の経過報告書と、定期的に栗原理事と共にヒアリングを行い、他害行動は減少しているとの報告を受ける。

(3) こむの事業所

a. こむの事業所の建物及び土地を、（特非）こむの事業所事へ障害者の就労を目的として提供した。

b. (特非)こむの事業所は、以下の事業を行った。

＊ ビル管理事業（障害者:12名、就労要支援:4名）

▶ 売上:1,760万円（前年1,800万円）

▶ フレミラ宝塚 及び 宝塚市立健康センターの清掃、福祉コミュニティプラザ駐車場の管理

＊ 食事サービス事業（障害者:4名うち1名は市場と兼務）

▶ 売上:2,912万（前年2,525万円）

▶ 宝塚育成事業所の給食、めふプラザの給食、レストランこむずの営業、デイサービスに配食

＊ こむの市場（障害者:2名うち1名は食事と兼務）

▶ 売上:823万円（前年842万円）

▶ 生鮮野菜や米の販売

＊ パソコン事業（障害者:1名）

▶ 売上:311万円（前年314万円）

▶ 「こむの修理屋さん」パソコンや家電の修理、データベースシステムの販売

＊ 住居支援施設

▶ 利用人数14人、延べ552日（前年：利用人数9人、延べ131日）

＊ アトリエ

▶ こむの修理屋さん、エビス面画き作業場として主に利用

＊ 研修室及び教室

▶ 昼食または喫茶の利用を条件に、グループに貸出しを行った。

c. 1階の事務所を、（特非）宝塚成年後見センターに対し、無償提供した。

▶ 使用目的：判断能力の不十分な方が不利益を被らないように、さまざまな契約行為などを本人と一緒に考え、本人の保護を考えること。

▶ 後見活動件数:1,602件（前年1,738件）、法人後見：12人（前年9人）

- d. 2階の事務所を、社会福祉法人さざんか福祉会に対し、障害者就労・生活支援センター「あとむ」として無償提供した。
- ▶ 使用目的:障害者の就業に関する相談、職業準備訓練、職場定着等及び就業に伴う日常生活・社会生活上の支援。
  - ▶ 就職件数:58件（前年41件）、

e. こむの事業所の収支

- ▶ 収益（収入）：9301万円（前年8,821万円）
- ▶ 経費（支出）：9687万円（前年9,166万円）
- ▶ 収支差額：-386万円（前年 -345万円）

(4) 駐車場

- a. フレミラ駐車場、ぷらざこむ1駐車場を、障害者就労のため(特非)こむの事業所へ管理を委託した
- b. (特非)こむの事業所の障害者スタッフが受付業務を行った。(駐車場利用料金は全額障害者の給与)

(5) その他

宝塚福祉コミュニティプラザ内の作業を、以下の障害者団体へ委託した。

- \* 駐輪場等の草刈り・芝刈り → 小規模作業所 和み
- \* トイレの清掃 → 小規模作業所 和み
- \* 玄関・階段・3階フリールーム等の清掃 → 社会福祉法人 さざんか福祉会
- \* 1階ガラスの清掃 → 社会福祉法人 さざんか福祉会

(6) ガーデニング広場

- \* 一般市民のために、ぷらざこむ1の開館時間に合わせて開放した。
- \* 造園や花壇、花づくり等のすべてをボランティアグループが行った。

(7) フレミラ宝塚の敷地

フレミラ宝塚の敷地を宝塚市に無償提供し、以下の施設として使用された。

- \* 宝塚市立老人福祉センター
- \* 宝塚市立大型児童センター
- \* 宝塚市子ども家庭支援センター
- \* 宝塚市ファミリーサポートセンター
- \* 宝塚市子どもの権利サポート委員会

2. つながりが生まれる場づくり

- (1) ぷらざこむ1のフロア内の配置の変更・・・未完
- (2) 「こむ1会」や宝塚市ボランティア活動センターとの連携・・・情報交換程度の連携

3. 市民参加型で行う「ぷらざこむ1」と「ぷらざこむ2」の運営

(1) 「ぷらざこむ1」

a. ボランティアによる受付業務

- \* 現在受付ボランティアは11名
- \* ボランティア2名体制が望ましいが、(月)(火)(水)は1名となっている。

b. こむ1会による自主運営

- \* こむ1会運営委員会・毎月1回
- \* 利活用委員会 ・倉庫ロッカー連絡会による管理 ・クッキングR/ふらっとプラザ整備
- \* 交流小委員会 ・こむ1会フェスティバル(4月2日) ・大掃除大会(11月11日)
- \* 防災小委員会 ・消防避難訓練(5月26日/11月29日) ・AED講習会(10月30日)
- \* 学習小委員会 ・勉強会「ほっこり庵」(5月/6月) ・「子どもの問題」(11月30日)
- \* 広報小委員会 ・こむ1会通信(毎月1回)

(2) 「ぷらざこむ2」

a. 「ぷらざこむ2運営委員会」による自主運営

- \* ぷらざこむ2運営委員会・毎月1回

＊ ぷらざこむ2交流会(4月9日) ・夕暮れコンサート(9月2日)

#### 4. 利用者とのコミュニケーションをはかる

(1) ぷらざこむ1の利用登録グループとのミーティング

＊ 2017年度においてはミーティングはできていない。

(2) 「こむ1会」や「ぷらざこむ2利用者運営委員会」との連携

＊ 毎月の「こむ1会運営委員会」及び「ぷらざこむ2利用者運営委員会」に財団として出席した。

(3) メディアの活用 (Webサイトの利用)

＊ 「みんなでつくるプロジェクト」のブログをつくり、「みんなプロ」の経過情報をWebにて発信した。

#### 5. 新施設(あるがまま交流活動センター「あるでこむ」)を市民とともにつくる

(1) 昨年度に引き続き、「みんなでつくるプロジェクト(以下みんなプロ)」において、「施設の名称」「施設の理念」「施設の役割」について議論をし、以下の様に決めた。

a. 施設の名称

＊ あるがまま交流活動センター「あるでこむ」

b. 施設の理念

＊ お互いの人格を尊重し、共に生き、あるがままを認め合う社会を目指す。

c. 施設の役割

＊ あるがままを認め合い、人と人のつながりをつくる場

＊ スポーツ活動、文化活動、交流活動を通じ、私たち(利用者)のあるがままの力を発揮できる場

＊ 宝塚福祉コミュニティプラザ内各施設のつながりができる場

＊ 働くよるこび、生きるよるこびを追求する場

＊ 施設の運営を私たち(利用者)自身で行う場

(2) 施設内にどのような機能を作るか、みんなプロ内を「スポーツ部会」「文化交流部会」「店舗・作業所部会」に分けて議論している。

(3) 公募型プロポーザル方式による施設建築設計業務を委託する事務所の選定

＊ 公 募 日：2017年9月12日

＊ 応募社数：12社

＊ 最終審査：2017年12月9日「木村松本\_シイナリ設計共同体」に決定する。

＊ 契約金額：18,000万円(税込)

(4) 市に対しての要望

a. 市長面談(12月6日)

＊ 要望内容

▶ 地区計画変更のお願い

▶ 施設「あるでこむ」の固定資産税免除のお願い

＊ 市側からの回答

▶ 副市長が責任を持って進めるとの

b. あるでこむ構成図/要望書を市へ提出(2018年4月2日Eメールにて)

＊ 要望書の内容

▶ 地区計画の件(現状の地区計画内で進めるが、無理があれば変更を要望する)

▶ 施設「あるでこむ」の固定資産税減免の件

▶ 市からの助成(障害者教室、部屋等の障害者利用料)